

# 令和7年度事業報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

## I はじめに

当センターでは、令和7年度事業計画に基づき幸手市をはじめ関係機関のご支援・ご指導のもと、多様な就業形態に対応するとともに、会員・役職員が総力を挙げ事業拡大を図るべく諸施策を講じてまいりました。

令和7年度におきましては、例年同様、会員増強に主眼を置き、会員募集チラシ等の作成・配布を行い、会員の増員に努めて参りました。その結果、令和8年3月31日現在の会員数が446名となり、前年度比で約6%の増となりました。地域社会の担い手不足が深刻になるなか、シルバー人材センターへの期待度が高まっていますが、一方ではシルバー人材センターの就業に対する認知度がいまだに低い状況にあります。今後も今まで以上に当センターの魅力を発信し、会員の増強に努めて参ります。

当センターにおける令和7年度の請負並びに派遣を合せた契約金額は204,491千円で前年度比2,577千円の減となりました。この理由については、派遣契約は請負契約からの切り替えや新規の受注によって伸びているものの、屋外作業を中心とした請負契約が減少したことが主な要因となっています。

今後も会員の皆様のご尽力により適正な運営を維持して参りたいと考えますが、新契約方法への移行等、当センターにとって危惧される課題が山積しております。今まで以上にお客様に丁寧な説明を行うとともに、より良いご提案ができるよう努めてまいります。

これからも、幸手市をはじめ関係機関との連携強化を図り、地域に根ざした自主的・効果的な事業運営を確立するため、会員・役職員が基本理念に基づき、地域のニーズに的確に応じられるよう、積極的に行動してまいります。

結びに、令和7年度のセンター事業につきまして、ご尽力いただきました全ての皆様に、心より感謝を申し上げ事業報告とさせていただきます。

## II 事業の経過

### 1 普及啓発活動の推進

- ・「シルバーさって」を令和7年度は2回発行し、市内全戸に配布した。
- ・会員向けの「連絡船」を例年同様1回発行した。
- ・公共広告媒体等を活用し、センターのPRを継続的に行った。
- ・「彩の国ロードサポート制度」並びに「幸手市道路・水路のサポーター制度」による道路清掃ボランティアを実施した。
- ・会員の親睦を図るため、日帰り旅行を実施した。
- ・市民まつりに参加した。
- ・市民の健康維持等を目的に、ウォーキングをしながらゴミ拾いを行う「第2回幸手プロキング」を日本保健医療大学と協働で実施した。

## 2 会員の増強と就業開拓の促進、就業の場の確保

- ・毎月第3木曜日に、新規入会説明会を開催した。
- ・「I会員ひとり紹介キャンペーン」を実施した。
- ・シルバー派遣事業を積極的に導入し、就業の場の確保に努めた。
- ・空き地等について、市と連携して対応した。
- ・幸手市から幸手市営釣場神扇池の指定管理者として指定を受け、会員に就業機会を提供した。
- ・女性活躍推進委員会を立ち上げ、女性の活動・交流を図ることで、女性会員の入会促進を促した。

## 3 安全就業の徹底と健康管理

- ・安全委員会による作業現場の巡回を実施した。
- ・熱中症予防研修等を実施した。
- ・自転車安全運転講習会を実施した。
- ・屋外作業班（植木・機械除草）を中心に会員の装備品の点検を実施した。
- ・普通救命救急講習を実施した。

## 4 就業に対する知識、技能の向上

- ・技能講習の受講を促した。

## 5 地域班・職群班、各組織の活動の推進。

- ・地域班が主体となった地域ボランティア活動に推進・協力した。
- ・倶楽部活動等を推進し、会員同士の交流・趣味・コミュニケーションの充実に努めた。
- ・地域班を廃止し、新たに地域活動に対する助成事業の規定を設けた。

## 6 運営体制の充実と事務の効率化

- ・諸規定の見直しを行った。
- ・植木剪定や除草等の見積もりを実施、その作業会員と連携充実を図った。

## 7 会員相互の連携、事務局との連携

- ・会員及び役職員が、一丸となりセンター運営等の充実に努めた。
- ・事務局通信を定期的に発行するとともに、ショートメールサービスや smile to smile 機能を活用し、登録会員とセンター情報の共有並びに迅速な連絡を図った。